

⑧ ループス腎炎の ISN/RPS 分類



I型 微小変化メサンギウムループス腎炎

光顕で正常糸球体だが、蛍光抗体法でメサンギウムに免疫沈着物を認める。

II型 メサンギウム増殖性ループス腎炎

光顕でメサンギウムに限局した細胞增多あるいはメサンギウム基質の増生を認め、メサンギウムに免疫沈着物がある。蛍光抗体法や電顕で上皮下または内皮下沈着物がみられても、光顕ではみられない。

III型 巢状ループス腎炎

活動性または非活動性の管内性あるいは管外性病変を全糸球体の 50%未満に認める。

IV型 びまん性ループス腎炎

活動性または非活動性の管内性あるいは管外性病変を全糸球体の 50%以上に認める。

V型 膜性ループス腎炎

全節性または分節性の上皮下免疫沈着物あるいは形態学的後遺病変が光顕、蛍光抗体法、電顕のどれかで認める。III型・IV型に合併して生じる場合は両者を診断とする。

VI型 硬化性ループス腎炎

90%以上の糸球体が全節性硬化し残存糸球体機能がない。

(Weening JJ, et al. The classification of glomerulonephritis in systemic lupus erythematosus revisited. Kidney Int 2004; 65: 521-30)